

## 金属製品等含浸強化用樹脂 『アルタイン G - 2』

### 〔特長〕

- ①金属製品や、脱塩処理を行った金属製埋蔵遺物などの補強・防錆処理ができます。
- ②土器・埴輪の補強ができます。
- ③皮膜の耐候性に優れており、従来製品よりも皮膜を薄くすることができるため、光沢の少ない自然な質感を得ることができます。

### 〔対象〕

著しく劣化した金属製品や、脱塩処理を行った金属製埋蔵遺物などの強化や原型を保持するためのコーティングに用いることができます。

土器や埴輪片などの強化や、復元後の土器・埴輪の強化にも用いることができます。

### 〔樹脂の成分〕

主成分：ポリビニルブチラルの混合物

副成分：抗菌剤

溶媒：エチルアルコール

### 〔金属製品への使用方法〕

アルタインGは通常10%の濃度で販売提供されます。

- ①金属製品の強化には、通常は原液を標準溶液として使用してください。
- ②溶液に浸すときは、対象が全て浸るようにして含浸をさせます。
- ③含浸後、溶液から取り出して余分な樹脂をキッチンペーパーなどで軽く押さえて吸い取り、光沢が出ないようにします。（毛羽立った布やタオルで拭き取ると、繊維や糸くずが付着してしまい、除去が困難です。ちり紙・キッチンペーパーの使用をお勧めします。）
- ④自然乾燥させます。（遺物の大小や形状によって、24時間～3日程度かかります。）
- ⑤十分に乾燥させた後、原液（10%）を刷毛等で塗布し、表面に被膜を形成させます。光沢が気になる場合は、余分な樹脂をちり紙等で拭き取ってください。
- ⑥塗布し終わったら再び乾燥させます。表面が乾いた色になるまで完全に乾燥させます。表面に樹脂の厚い皮膜ができて光沢が出た場合は、希釈液を筆で塗布することで被膜を溶かすことができます。溶解した樹脂はキッチンペーパー等で吸い取ってください。
- ⑦含浸や表面へのコーティングは、複数回繰り返し行います。（完全に乾燥させてから行ってください。）

\*1 含浸時間は、遺物の大小や形状に依りますが一昼夜が目安です。

\*<sup>2</sup> 乾燥の目安は、対象の大きさや形状、乾燥条件にもよりますが、2日～1週間程度です。

\*<sup>3</sup> 素材の表面に樹脂の膜ができないようにしてください。

※ アルタインGは、修理文化財の損傷劣化の程度や材質によって濃度を変えて使用できます。

〔注意事項〕

①使用時には必ず換気を行ってください。

②使用時には必ず手袋を着用してください。

③使用後は必ず蓋をして密閉してください

④当製品の使用により発疹等の過敏症状が現れたときは、すみやかに使用を中止し、医師の診断を受けてください。

⑤目に入った場合はすぐに水で洗い流し、異常がある場合は眼科医の診断を受けてください。

## 「アルタイン G-2」 金属への使用例



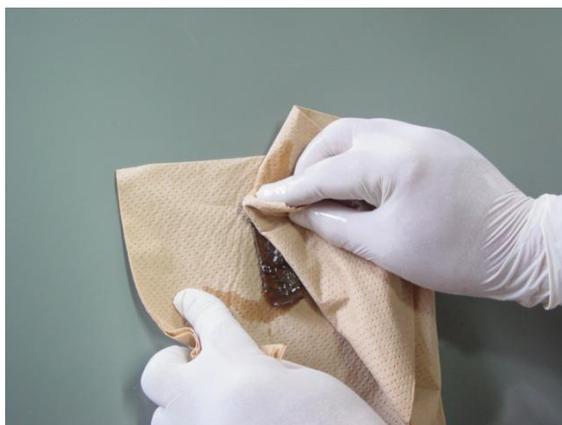
アルタイン G-2 を準備



対象を液へ完全に漬けます



気泡が出ない状態まで含浸させます



余分な樹脂を拭き取ります



乾燥



表面コーティング